

## 第3回置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

### 【日時及び場所】

日 時 平成30年11月6日（火）14時～15時50分  
場 所 置賜総合文化センター 203 研修室

### 【出席者】

委 員 尾形健明委員、亀岡淑子委員、我妻行芳委員、小川正昭委員、  
松田圭悟委員、佐藤みさ子委員、勝見英一朗委員、鈴木和他委員、  
宮原博通委員、藤倉利英委員、高橋和衛委員、守屋由美委員、  
米野齊巳委員（水野由利子委員、清野雅好委員、柴田正孝委員、  
遠藤央子委員 欠席）

### オブザーバー

置賜総合支庁総務課連携支援室長、長井市地方創生参事兼  
総合政策課長、南陽市みらい戦略課長補佐、高畠町企画財政課長、  
川西町未来づくり課政策調整主幹、小国町総務企画課企画財政室長、  
白鷹町企画政策課長、飯豊町総務企画課長

事務局 米沢市企画調整部長、米沢市企画調整部総合政策課長、  
総合政策課長補佐、総合政策課企画調整主査、総合政策課主任、  
置賜広域行政事務組合総務課広域連携主幹、総務課長補佐、  
総務課企画財政係長

### 【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事 置賜定住自立圏共生ビジョン（案）について
  - (1) 委員意見への対応について 資料1
  - (2) 共生ビジョンについて 資料2
    - ①変更内容について
    - ②成果指標について
  - (3) 意見交換
- 4 その他
- 5 閉会

### 【議事録（要点筆記）】

会長あいさつ

これまで2回の懇談会を開催したが、委員の方々には貴重な御意見をたくさん

頂戴した。今日は第3回目の懇談会となるが、ver. 2の共生ビジョン（案）をもとに御議論いただきたい。ここに時間をかけたいと思っているのでよろしくお願いしたい。

### 3 議事

#### (1) 委員意見への対応について

事務局 **資料1**に基づき説明。

会 長 委員意見への対応等について、質問や、委員意見とその対応についてミスマッチがあるなどの御指摘があればいただきたい。

—意見なし—

最後に意見交換もあるので、何かあればそこで御発言をいただきたい。

#### (2) 共生ビジョンについて

#### (3) 意見交換

事務局 **資料2**に基づき変更内容及び成果指標等について説明。

会 長 今の説明を聞いて「置賜で一生を終えたい、いい地域だ」と思えたかどうかという立場から御意見、御質問をいただきたい。なお、本日は、各事業の担当部署の職員にも来ていただいているので、様々な質問等を出してもらいたい。

会 長 具体的な取組の中に「エネルギー」がなかったが、エネルギーの確保は大丈夫か。

事務局 **資料2**P30「1 環境保全及び循環型社会構築事業」で、再生可能エネルギーの活用をWGでも検討したが、すぐにできることではないため共生ビジョン（案）には入っていない。「2 森林・里山対策の検討」で木質バイオマスの活用についても検討したい。

委 員 **資料2**P20「2 自殺対策における普及啓発活動の推進」は大幅に前回と変わった。普及啓発するための講演会も大切だが、1対1の関係で自殺を思いとどまらせる役割を持つゲートキーパーの養成が必要ではないか。

担当課（健康課） 各市町においても自殺対策計画に基づくゲートキーパーの研修は行われるものと想定しているが、置賜地域には専門家が少ないので、広域でも自殺対策の専門家を招いてゲートキーパーの研修にも触れられるような研修会を開催したいと考えている。

委 員 ぜひお願いしたい。

委 員 **資料2**P51の事業費見込みについて、補助事業や起債などを含めた総額が87億円くらいで、この中には既存の事業も含まれている。新規事業については今後の検証も必要だと思うので、現時点でどのようにとらえているのか教えてほしい。

事務局 事業費見込みの中には、新規の事業だけでなく既存の事業が含まれている。

事業の考え方として、既存事業は今までの事業費、既存事業を拡充するものは増額、新規事業は純増となり、これらを合わせたものが事業費見込みの総額となっている。当然、毎年各市町の予算査定もあるので事業費見込みからの変動はあると思われる。なお、31年度の事業費については、これから決まる来年度の予算に合わせて掲載したい。

委員 特別交付税の枠は決まっていると思うので、特別交付税の額が全体の事業費の中に埋もれてしまわないように、目に見える形で分かりやすくしてもらいたい。

事務局 共生ビジョン（案）の事業名称に「拡充」「新規」などの文言を加え、わかりやすくする工夫をしたい。

委員 資料1P3「ア 教育環境・生涯学習の充実」の教育環境の支援策で、地元から高等教育機関に進学させる取組を行政も一緒になって考えていく必要があるのではないか。この記述についてはどこかに反映されているか。

事務局 共生ビジョン（案）への記載はない。これから WG を開催し、どのような取組ができるかを考え、今後、ビジョンへの追加を検討したい。

委員 資料2P23「2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討」で、狩猟免許の取得は少しずつ増えているが、猟友会では勤めている方が多く、実際対応するときに人手が足りず高齢の方が対応せざるを得ない。育成とともに実地訓練が必要であり、そのことも記述に加えてほしい。

担当課（農林課） 猟友会の高齢化等については、直接意見を伺っており、課題として認識している。米沢市としては訓練するための弾代を助成している。また、高齢の方が対応せざるを得ない状況に対しては、県が進める新たな捕獲体制の取組や、猟友会だけでなく地域からも実施隊ということで人を出してもらい地域ぐるみで鳥獣被害を防止する取組をしている。

委員 資料2P52「イ 米沢牛の振興」で、と畜頭数の目標値が 3,450 頭となっているが、実際に携わっている方に聞くと 5,000 頭は必要だろうという話だ。GI を取って海外戦略もと考えると、この目標値でいいのか。

担当課（農林課） と畜頭数 5,000 頭は必要という話があったが、今のと畜場の能力的に難しい面がある。と畜頭数を増やしていかななくてはならないという認識はあり、施設の整備も検討したい。

委員 資料2P30「ア 環境の保全」の「取組の内容」と「具体的な事業項目」にギャップがある。地域の環境を保全するとはどういうことなのかを反映させるべきではないか。具体的な事業項目がごみの減量化と廃棄物処理に集約されているが、もっと違う取組をしないと、これからの自然環境や社会環境の変化に追いついていかないのではないかと。もう少し攻めの姿勢で自然エネルギーを活用するということが必要ではないか。

事務局 エネルギーに関しては大事な視点であるため、環境の部分に事業項目を盛り込みたい。

委員 資料2P37「② 移住・定住・交流」で、地域の魅力づくり、魅力の発見、魅

力の活用、魅力の連携などをしていかないと移住・定住・交流を促すことはできないのではないかと。また、住民の出番づくりが大事であり、住民との協働で取り組まないと実現が難しいのではないかと。その辺りが考慮されていないのはどうしてか。

事務局 住民の出番づくりという視点は大事であるため、今年度は難しいが、次年度以降の見直しの中で対応を考えていきたい。

委員 資料2 P23「1 米沢牛生産基盤強化事業」で、今回の共生ビジョン（案）で小国町の畜舎整備が削られたのはなぜか。また、市町が畜舎を整備し管理運営するということだが、農業法人等が畜舎を整備した場合は対象になるのか。

事務局 小国町で畜舎整備の方法等を調整中のため、今回の共生ビジョン（案）には載せていない。また、農業法人も対象となる。

委員 資料2 P52「ウ 商工業の活性化と雇用促進」で、長井管内の目標値が100%となっているが実現可能な数値か。また、米沢管内の80.2%は小数点以下を整理した数値でもよいのではないかと。

事務局 長井管内の目標値100%の根拠については再度調べて回答する。

担当課（商工課） 米沢管内の目標値80.2%は、平成27年度に策定した米沢市まちづくり総合計画の現状値が75.2%で、毎年1%増加させ平成32年度に80.2%という目標値を掲げていることが根拠となっている。

会長 米沢管内の目標値はまちづくり総合計画の中で小数点以下まで表記されている。長井管内については調べる必要がある。出典があるといい。

事務局 出典があるものについては注意書きしたい。

委員 資料2 P32「⑦ 消防・防災」で、自主防災組織の強化や住民のやるべきことも必要だと思うが、共生ビジョン（案）に載っていない。地域に応じた防災の方法なども必要ではないかと。

担当課（環境生活課） 今回はまず圏域の中で共通して取り組まなくてはいけないものを載せている。自主防災組織や地域住民の方の消防に対しての協力体制などを今後のWGで詰めていきたい。

委員 資料2で事業費見込みが「0」となっているのはどういう意味か。

事務局 具体的事業が決まっていない場合や検討のみの事業の場合は事業費が「0」となっている。

委員 協議・検討は進めていくということか。

事務局 協議をしていく会議費はあると思うが、その中で具体的な内容が決まれば事業費見込みに数値をあげる。

委員 共生ビジョン（案）はよく整理されている。網羅はされていなくとも定住自立圏の財政措置に関わる取組ということであれば納得できる。今回の財政措置はあまり大きくないが、それをどう有効に使うかということと言うと、新規の事業も大事だが、動き出しているところにさらに活力を加えるという考え方も必要だと思う。運動の分野で、2つの力を同時に加えるより、1つの力で動かした後にもう1つの力を加えたほうが大きなエネルギーを得られるパラメー

夕励振\*という考えがある。政策も同じで、一定の額で動かしているところに、もう1つ加えることで加速度が増すような政策を選び効率的に活用してもらいたい。

事務局 中心市として責任をもってやらなくてはならないものとして、まずは米沢牛と観光には力を入れていきたい。また、今後は福祉の分野、成年後見センターなど、そういった重点的に力を入れて取り組むものの財源に交付税を活かしていきたい。今後、新しい事業が展開されればそちらに移っていくということもあるが、当面は重点的に力を入れて取り組むものに活用していきたい。

委員 資料2 P33「ア 交通ネットワーク等の維持・整備」で、現在の新幹線は米沢・高畠・赤湯に停車している。フル規格新幹線整備に向けて運動しているが、米沢には停車し、高畠・赤湯には停車しないという話だ。飯豊・長井・白鷹・小国の方は赤湯駅を使っており、フル規格新幹線でも高畠・赤湯に停車するように国や県に働きかけないといけない。現在ほどのような運動をしているのか。

事務局 フル規格新幹線では、福島と山形は停車するが、米沢に停車するかは決まっていない。新幹線の一番の課題は米沢～福島間のトンネルで、たびたび止まるため多くの方に御迷惑をおかけしている。県ではフル規格新幹線が先にあるので新しいトンネルが整備されるということで運動している。置賜では新幹線の整備だけでなく、トンネル整備という名前も付けて同盟会を立ち上げる予定となっている。まずはトンネル整備を第一に考えていきたいという趣旨だ。

委員 資料2 P39「① 職員等の交流」の研修について、課題をしっかりと捉えた上で課題に沿った研修場所・方法等を詰めて実施してもらいたい。例えば「若い年代のプロジェクトチームを作り、課題を見つけ勉強し、それを事業に生かす」ということができれば、置賜全域の一体感が出てくるのではないか。

資料2 P52「(2)成果指標一覧」で、これはビジョンの評価、PDCAのチェックの部分だと思う。指標ということで数値化できるものに限ったのかもしれないが、事業のチェックであればこれに限っていいのだろうか。例えば「こういう取組をしたい」というのであれば「その取組ができたかどうか」が評価になるので、成果指標のチェックの部分は考慮していいのではないか。具体的取組の中に事業ごとに「チェック部分」を入れられないか。

事務局 どういう課題を見つけてどういう事業に生かしてどういう結果になったのか、そういった一連の流れでの作業というのを、人材育成事業の中でどういった研修ができるかを含めて、今後十分に検討したい。

会長 欠落している事項があっても、次年度に見直しができる。

事務局 分野ごとにWGをしており、ある程度整ったものをビジョンにまとめている。まだ詰まっていないものはWGをしながら毎年度見直しをしていく中で反映させていきたい。

会長 毎年見直しのときは、このメンバーが集められるのか。

事務局 委員の任期は2年であり、来年度も御協力をお願いしたい。

委員 子育て支援・教育面から考えると、置賜には冬の屋内の遊び場が少ない。福

島には遊び場があり米沢から連れて行っている。魅力あるまちづくりが定住・移住につながる。分校・休校等の体育館を利用してお金をかけない子育て支援ができないか。

事務局 情報発信をしながら圏域にあるものを有効に活用していく取組をしたい。

委員 [資料2]P18「3 児童遊園施設等の広域利用」で、長井市の（仮称）子育て世代活動支援センターはどういう施設か。

オブザーバー（長井市） 子育て世代の市民の皆様から要望の多い多機能型図書館と、子どもの遊び場や相談場所などが一体となった公共複合施設を計画している。

会長 山大産研の話があったが、米沢市からの助成金でどのくらい研究を行ったかというリストはあるか。

委員 確認してみる。

会長 いろんな成果が出ており米沢市の財産なので活用すべき。  
他に意見がなければ、以上で議事を終了する。

#### 4 その他

事務局 本日、御意見いただいた内容を踏まえ再度調整させていただきたい。  
次回は、12月18日（火）に開催したい。御案内は別途差し上げる。

#### ※パラメータ励振

系の振動を決めるパラメータ（媒介変数）。たとえば振り子の糸の長さや重力加速度の周期的な変化により振幅が増大する現象。（出典：ブリタニカ国際大百科事典小項目辞典）

このメカニズムを利用した身近な例に、遊具のブランコの一人乗りの揺らし方がある。